

こども往還機

子どもから出発して子どもに戻ってくる教育をめざすスペースシャトル

塾長、専任講師、外部講師、現職教員など
多彩な講師陣が塾生の学びを支えます！

第10期 さがみ風っ子教師塾

平成21年に開塾した「さがみ風っ子教師塾」は10年目を迎え、第10期として、大学生、常勤代替教諭、社会人等、33人が入塾しました。3つのステージのねらい「めざす教師像とは」「教師に必要な資質・能力」「実践力のある教師」に沿って学びを進めています。社会が急速に変化する中、教育も変わろうとしています。第3回までの第1ステージの学び「めざす教師像とは」について報告します。

10月6日
第1回

【開講式】



野村教育長

的川塾長や野村教育長からは、「これから始まる塾生としての学びを大切にほしい」など、心温まる励ましの言葉がありました。また、市長からもメッセージが届きました。

さがみはら教育の魅力に触れ、教育への情熱と使命をもった教員として、ご活躍いただけますことを、ご期待申し上げます。

(市長メッセージより)

【講義】教師をめざすみなさんへ

的川 泰宣 塾長（JAXA名誉教授）

的川塾長は、かつて小惑星イトカワへの「はやぶさ」プロジェクトの中心でした。当時、どのように困難を乗り越えて行ったのか、そこには、各自の判断やチームの協力等、教育にも通じることが多くありました。

また、現在航行中のはやぶさ2のプロジェクトについての解説があり、その特徴や現在の状況についての映像を交えた興味深い講義となりました。

大切なのは、高い志と諦めない心を持ち続けること。



【講義】教師をめざすみなさんへ

玉川大学 難波 克己 教授

この日で出会ったばかりの塾生でしたが、アクティブな講義と演習で、あっという間に笑いや一体感が生まれました。遊びの中にある探究的な学びを、体を動かしながら実感することができました。



塾生の感想

的川塾長のお話に登場した方々の、気骨ある判断、行動に胸が熱くなった。自分の正しい信念を貫き通すだけの勇氣、倫理観を育てられる教育者になれたらよいなと思った。

○難波先生のアクティビティの中で、多くの人と関わる場面づくりやその方法、授業の中でのアイデア等を、実践的な活動を通して学ぶことができました。

10月20日
第2回

【講義】私がめざす教師像

第9期卒業生 稲谷 直也さん 高橋 真理亜さん



稲谷さん

高橋さん

2人の卒業生から、塾での体験談や後輩へのメッセージをいただきました。入塾の頃、教師の具体的なイメージがなかったという稲谷さんは、なりたい自分を言語化して視座を高めたそうです。学校での実習が有意義だったと話す高橋さんは、専任講師の言葉から学んだことやめざす教師像の変容について語りました。

【講義】子どもを取り巻く現状

中央子育て支援センター 松浦 隆志 指導主事

学校では、校長をはじめとして、学級担任、養護教諭、カウンセラー、児童支援専任、生徒指導担当などが様々な連携を図っていることや、市の機関との連携のあり方、児童虐待の現状について、わかりやすく説明していただきました。

- ・(金子みすずさんの詩「星とたんぼぼ」のように)子どもの様子から「見えること」と「見えないこと」がある。
- ・「教師」は「特別な存在」であり、「教師」にしかできないことがある。



11月10日
第3回

【講義】教師に求められること

二ノ宮 比呂志 専任講師

「教師に求められること」をテーマとして、ジグソー学習の手法を取り入れた講義となりました。

各自がテーマについて文章化した後、班は3つのグループに分かれます。「AIと子どもの成長」「宮大工の教育」「アクティブ・ラーニング」に関するコラムの一つを読んで協議した後、班に戻り協議したことを報告しあって考えを深めました。



知識構成型ジグソー学習は、子どもの相互作用を促進する授業方法の1つです。

【演習】私がめざす教師像 【班別協議】

はじめに論作文を作成する際に必要な心構えや、構成の仕方、よりよいものにするためのポイントを学びました。

その後、第1ステージのテーマとなっていた、「めざす教師像」について、自分の考えを論作文にまとめ、互いの考えを伝え合うことで、充実感を味わう班別協議となりました。



第1ステージを終えて(抜粋)

塾生の振り返り

自分のめざす教師像について、改めて考えることができた。まだまだ自分磨きに力を入れていかなければならないと感じた。

様々な方の講義や塾生の意見を聞く中で、漠然としていた自分の教育観や理想像が形を成してきた感覚がある。自分の考えを発見していくのが楽しかった。

専任講師の助言

何でもできる先生は一人もいません。先生は、その姿、そのやり方、その生き方を子どもの前に、さらけ出すようなものです。苦手なことで、一生懸命に取り組む姿から、子どもたちは学ぶのです。